



山田子句

付湯山三介

伊地知文庫
文庫20
96



山田千句
陽山百韻

伊知地無

何船 第一

高田親臣



朝日よけ雲あり白く霞の都

雲と乃くさる山乃くもか
宗長

お出ふ水も去る波きみえ
宗禎

河をれく河をあげ方の急
同

元をきみえ
此秋を
長

いづら過はる月のあき
同

さくよ此種のおきと目をして
あき破れとびしとたまふ
いよりあつたまのまはあまじ
尾とまの子のたぐをせれと名
くあよやまのまのまはあまじ
尻しつはまのまのまはあまじ
つてこしとやまのまのまはあまじ
同 同 同 同 同 同 同

野いよまのまのまのまはあまじ
まやこまのまのまのまはあまじ
さしよまのまのまのまはあまじ
くこまのまのまのまはあまじ
ましよまのまのまのまはあまじ
かまのまのまのまのまはあまじ
つまのまのまのまのまはあまじ
長

くほりり花もをたさるる
筆をまふぬもむらさ
みやげも出さるる思ひ
しつこやしらぬか
まらぬもむらさ
なりぬもむらさ
おきさるる今あはるる
長

そぬこ乃多ふ秋風のくれ
海もさやいほもさるる
手もさるるさるる
灯もさるるさるる
よもさるるさるる
ふもさるるさるる
松もさるるさるる
日

今ハキ〜子ヤ〜の〜想ヲ
福〜の〜成ヲ〜い〜や
日〜ハ〜年〜又〜あ〜
夕〜ち〜及〜名〜所〜
秋の世や訪ふはくろを〜
あ〜れ〜さ〜風〜は〜し〜
う〜ぬ〜も〜あ〜ぬ〜る〜夏衣
長 日 碩 日 長 日 碩

あやうもりの〜袖くら
小車めい〜の〜ふ〜引〜入〜
さ〜い〜う〜屋〜め〜の〜い〜ら〜
ひ〜い〜つ〜さ〜あ〜い〜さ〜あ〜
わ〜ふ〜い〜し〜老〜わ〜あ〜ぬ
よ〜れ〜つ〜の〜つ〜さ〜や〜に〜し〜
ま〜く〜か〜し〜さ〜ち〜は〜ま〜の〜若
日 碩 日 碩 長 日 碩

目さくらんぶのたらくまはなせ
あしにみきく茶のたの枝長
けりまきくむ水まむあひ日
花そそくはらちのはのま日
しほれくあきまは認めて
かたむくしこくしぬし日
まきくくは胡の雲ふまわを長

山やうすれぬゆくまあしん
いとくひとくちちりたのま日
あくらま枝のそくし日
ちりらさあはちくはあは長
くまきくはらまはくは日
まきくははくはくは日
まきくははくはくは日

帰らうと云ふ時こそ此旅の死
をくらんとけしやまやソひん
契しやいし今おれつる
うねらうと云ふ時こそ此旅の死
おれつる此にみと恨む
地をまてあはれはまや
いしつるえつるまはれ
日 長 碩 日

時やうと云ふ此にみと恨む
とくつるあはれはまや
一夜つるにこそつる
いしつるえつるまはれ
あはれつるにこそつる
りあはれつるにこそつる
おれつるにこそつる
日 長 碩 日

キウキウキウキウキウキウキウキウキウキウキウキウキ
乃らの世おしやえしやいなま
あけきつしやしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん
あしししししししししししししししししししししししし
水月あつらひししししししししししししししししししし
うしだいのしんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん
せむたしんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん
日 長 日 碩 日 碩 日 碩

いしししししししししししししししししししししししし
昔あつらひししししししししししししししししししししし
しししししししししししししししししししししししししし
和室のあつらひししししししししししししししししししし
冬さあつらひしししししししししししししししししししし
秋ししししししししししししししししししししししししし
馬にしししししししししししししししししししししししし
日 碩 日 碩 日 碩 日 碩 日 碩

宗長五十

宗碩卒

何路第三

くらや神の代さるまをむ
 宗碩
 くらやさるまのむ
 宗長
 白雲のさるまむ
 碩
 日さるまむ水のさるまむ
 日
 時由はさるまのさるまむ
 長

あーの丸屋乃移をさるまむ
 田
 朝かーさるまむ鳥のさるまむ
 碩
 さるまむ風のさるまむ
 日
 さるまむさるまむ
 長
 さるまむのさるまむ
 日
 さるまむのさるまむ
 碩
 春のさるまむさるまむ
 日

常のしよはけふこれやうん
きひのひのえちうしむひひ
月かたのふれしつうをか
つうせおつき社やちんけ
至さうらち乃家地
いふかーいも海
みるにーも玉地して
長 目 日 碩 目 日 長

かうれよささじ夏乃い
あふふをねおさあふ
内いふに海
よこさや海
公とけは
あひいれし
里のあちやつし
碩 日 長 碩 長 碩 目

むし雨のさかひこころに金丁のふ長
いづらあつら秋風りぬく日
しきつむねのいふもと出づる
うすむすいむすくゆらぬ長
苦みくろみおののろくを
おしむるむすくかきを
ふらさのろくひく雪かて日

松こまはふあゑのつら舟
むしぬやほむおろを風は日
くむすいぬくむすく日
あつらふむすくおのほむす日
しきつむねのいふもと出づる
うすむすいむすくゆらぬ長
苦みくろみおののろくを
おしむるむすくかきを
ふらさのろくひく雪かて日

うほくあく結くす結あはは長
かきしあはし一節も結ふよ 月
あはしあはあはあはあはあはに 碩
あやしあはあはあはあはあはり 月
あはあはあはあはあはあはあは 長
あはあはあはあはあはあはあは 月
あはあはあはあはあはあはあは 日

あはあはあはあはあはあはあは 碩
あはあはあはあはあはあはあは 日
あはあはあはあはあはあはあは 長
あはあはあはあはあはあはあは 碩
あはあはあはあはあはあはあは 日
あはあはあはあはあはあはあは 長
あはあはあはあはあはあはあは 碩
あはあはあはあはあはあはあは 日

若草地露をまかしては守るも
多々は保るまの幸くはのう助の
任りし一の里のうの月
身のあつとくれし一
心とすなりれとふくまは
胸くわしとんはのあつと
ろいあつとんはのあつと
日 日 頌 日 長 日 頌

ゆのまねつとれし一
満つたを老かつとんはのあつと
たきししししししししし
あつとあつとあつとあつと
つとあつとあつとあつと
月だつとあつとあつとあつと
かつとあつとあつとあつと
日 日 頌 日 長 日 頌

山はく原野の香ふと来て
たつや海は暗き羽おと
水もみ所はきこあはれはふ
うさだたむかひのちもふしき
あはれ世やまのくくはく
おとくくくくくくくくくく
あはれとみまのちくくくく
碩長碩曰長碩

あはれまきくくくくくく
はくくくくくくくくくく
春乃山はくくくくくく
くくくくくくくくくく
田中衣まのちのま乃くく
浦くくくくくくくくく
りくくくくくくくくく
曰碩曰長碩曰長

うめれまの川下紫、秋の風きて長
峯のふゆしきも、露くもは
山里とよろくすすも、おろよふれ日
らうれ志くしきとくやこく日

宗碩五十一 宗長五十一

落行草四

たうくわ乃知花月夜部ろ 宗長

垣蘇志くしきこくも、おろやま、里 宗碩
名のつやおれとくみふ、ぬのん 長
田西ま、津乃たのひくも、地 日
くしちけくも、ふくしき、床の張みせ 碩
ちくく、れ原乃、秋思い、ちくく、りよ 岡
いふ、流るや、おれ、れく、れ、思、く、ん、長
西く、く、く、思、く、ぬ、よ、の、か、く、く、一、同

志乃く風標の戸あしんき文て 碩
きく世末くしきまきれし一居 曰
おきししきまきれしおきまふ 長
おきししきまきれしおきまふ 曰
おきししきまきれしおきまふ 碩
かりれしおきまきれしおきまふ 曰
しきまきれしおきまきれしおきまふ 長

おきししきまきれしおきまふ 曰
今ししきまきれしおきまきれし 碩
おきししきまきれしおきまきれし 曰
おきししきまきれしおきまきれし 長
おきししきまきれしおきまきれし 曰
おきししきまきれしおきまきれし 碩
おきししきまきれしおきまきれし 曰

はらきしとりのふゆのついで
いふふふふふふふふふふ
ゆわらぬたかしのけしけし
せさやうにらふふふふふ
ちいこねのらぬたかしの
あうらふふふふふふふ
そのふふふふふふふふ
長 碩 日 長 碩 日 長

はらきしやねをけしあふふ
あふふふふふふふふふ
外ふふふふふふふふふ
いねそのふふふふふふ
ねのふふふふふふふふ
冬ふふふふふふふふふ
ねふふふふふふふふふ
長 碩 日 長 碩 日 長

露を何れも考ていれこの枕と長
いひよりのものいれれきつとむ
きつあゝぬあつたにひひのひ
かかひんしもあひひひひ
木ありひひ花をいひひひひひ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

文やなみこのさひあふり長
あ乃世しう林もいひひひひひ
雲路もいひひひひひひひひひ
きりれりりりりりりりりりり
なみあひひひひひひひひひひ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
乃あふよあゝあゝあゝあゝあゝ

晴の早きしこもあはれは
くしらのまらふよりくのき
冬うれめありし中ある浦の跡
ゆきよふししむれ松をきき
岩多き浪のかくやんぬん
風のなごきしゆのきよ
むらさきぬんをこし
碩日 長 碩 長 日 碩

いのみとすそはかきしえの
こきしゆのきよのきよ
おさむる及よえややす
奥津舟よふくしやあ
いはくちすまのきよ
あまの経里乃志くも
紫乃朝しも梅のきよ
碩日 長 碩 日 長 碩

り、氣、ま、と、ま、ま、や、ま、は、く、ふ、れ、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
お、ま、く、く、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、

日 長 日 日 日 日 日 日

か、い、の、あ、ち、の、あ、ち、の、あ、ち、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
あ、の、り、し、し、し、し、し、し、し、し、

日 長 日 日 日 日 日 日

春をゆくは流るる枝の冬は
されくばたつたてふも
野へちりまきりおるや
ふもまはらうらうら
日くはれは海へ舟の
たさくあれらるもあま
い流しはるる旅の
日 長 碩 日 長 日 日

春よがよまのせらるや
よあまのよくあまの
うすんこふくまのあ
花はくやうらうし
あまらもまのよ
ちけくあまのよ
若くはくあまのよ
若くはくあまのよ

日白く秋の暮のねりその秋
ちやうど夕や秋のさむし
い夕むかしき床あひるん
身ふすまきく海士のほろ身
こころの奥津波のひのこころ
ははのほほのこころのひのこ
こころのこころのひのこころ
長 日 碩 日

花のさきこころのひのこころ
わきこころのひのこころのひのこ
福くこころのひのこころのひのこ
下ひのこころのひのこころのひのこ
春のこころのひのこころのひのこ
つぎのこころのひのこころのひのこ
時一お而風のきこころのひのこ
日 碩 長 日

あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも
あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも
あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも
あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも
あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも

あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも
あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも
あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも
あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも
あまのこゝろのちかきかたはききて
いづれもいづれもいづれもいづれも

ほしきすけきやむあのみつな
みし^{おつて}れりやふひのふか
七夕のこしつる糸乃りうん
月まこいんもあやみ琴の
およひすいとほ繞人まし
秋てまものうたうり
夕暮やあらの結を
長 日 破 長 日 破 長 日

草末のなうれうそら乃い
松山やあをいし
うらたき
いそ
あほ
長 日 破 長 日 破 長 日

字願

字長

何田

数やては月よみれとるの秋を居 宗長
空方よいよりの清きせたりとる 宗碩
千鳥かく取きつらひとけし 長
山中と遠く舟をゆくは 因
いつくしゅう中余たうとくをん 碩
入道のうねれとありとら 曰
くよのいしあらんえまは 長

かこよふもは梅初くうら 曰
古きよに名を繁りうやましと 碩
うすくんのけりもあはれとる 曰
志ら海をいしとるはあつとる 長
夕り霞かたけの舟のさしとる 碩
あゝあやましとるはあつとる 長
秋うらうらとるはあつとる 碩

あゝ人の心も〜知るるは
つ〜ヤタあ〜は〜の〜
ふ〜あ〜あ〜の〜
志〜あ〜あ〜
さ〜あ〜あ〜
さ〜あ〜あ〜
遠〜あ〜あ〜
日 長 日 長 日 長 日 長

を〜あ〜あ〜
か〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜
日 長 日 長 日 長 日 長

君の心はなほ一層おこえ
きくや夕暮の影もあはれぬの殿
あはれやあはれやあはれやあはれや
なまは清くはるはるはるはるはる
世中をささおしぬたのむん
なまをささおしぬたのむん
なまをささおしぬたのむん
なまをささおしぬたのむん

この世のまはるはるはるはるはる
あはれやあはれやあはれやあはれや
なまは清くはるはるはるはるはる
世中をささおしぬたのむん
なまをささおしぬたのむん
なまをささおしぬたのむん
なまをささおしぬたのむん

天の戸此をくむやきくし一萬九日
春よこころの波のゆくすゑも
真津舟なるかたし船をよみあきしに長
かくし人も人のこころむむおん
い流とれくろくさくしんれもさか
生れをさくはうをてくもくふ
あくく海のほとりよ山の峰に
日 碩 日 長 碩 日

身もすゆまき風のあるや
月うくしおつる権のまきすけい
旅しありれくさかきもあり
こころの袖のやつさよふく
くもさきくさかきもあり
春といふおし山を渡るあはれ
うすくぬくしんれもさかきもあり
日 碩 日 長 碩 日

一ひらの堤の柳明やこし
草葉さきく匂もかりし
ふらりてはなほもなほ
むらりてはなほもなほ
きりぎりすのさきもなほ
大いなるはなほもなほ
あまのこもなほもなほ

碩 長 日 碩 長 日 碩 長 碩

あはれ野の月せうや
よすしはなほもなほ
あはれや霧もなほも
きりぎりすのさきもなほ
むらりてはなほもなほ
花よりなほもなほ
こはなほもなほもなほ

碩 長 日 碩 長 日 碩 長 碩

朝よの霞乃らうもえかき
たもとやこいつくむれ
日

宗長廿

宗碩五

青月何事七

麻うふくはるやぬ跡の
あふふはるれなむん
夕月夜さすやうふの
碩

宗碩

宗長

碩

さふらうーまーのえ
夢あやなまかう草の
やまのまのまやこ
郭多まれのこえ
五月雨うの川や
あー火あふーひ
日

因

長

日

碩

日

長

日

冬されと松のこゝろのこゝろは
初とよりあけよやこゝろは
秋の日のたかきよやこゝろは
中らきこゝろはこゝろは
衣のたきぬきよやこゝろは
たきぬきぬきぬきぬきぬき
とつれあこゝろはこゝろは
日 長 碩 日 長 碩

冬されと松のこゝろのこゝろは
初とよりあけよやこゝろは
秋の日のたかきよやこゝろは
中らきこゝろはこゝろは
衣のたきぬきよやこゝろは
たきぬきぬきぬきぬきぬき
とつれあこゝろはこゝろは
日 長 碩 日 長 碩

寂しきものやまを抱きしめて浅く
うてる雪のこもあふらする
うちをれの花らるる雪乃ま夕
いかりも夏乃すまの涼しき
くつとこのまふなく山のうらさ
世のしづかきやあまひなうら
はちくせふうれあれし
長 日 碩 長 碩 長 碩

くねしきくねかきらうと洗
みうらんふ満ちらす海しき
なまふふしのかさかきあり
わすれぬ人をも月しき
太山のせきかたのよまあ
かひらうとま後しきうらぶお
何まかひある枝みあふむ
日 長 碩 日 長 碩 日

たらしねの...
あきりあのら...
あうあ...
今あ...
む...
か...
た...
日 破 日 長 日 破 日 長

な...
あ...
ま...
秋...
ら...
ふ...
あ...
日 長 日 破 日 長

春乃花をけらたわーもあまて
きえぬうーのさきか山いり月長
空あかあさうさある程まじり日
かしてさきさきさきさきさき日
いさうあなまさたらばあーやて頃
月あちりーさきさきさきさきさき長
あまのさきさきさきさきさきさき取

あまーあちりあちりあちりあちり日
あまさちりあちりあちりあちり長
紅の舞いこちりあちりあちり頃
岩代やあちりあちりあちりあちり長
わささちりあちりあちりあちりあちり取
たささちりあちりあちりあちりあちり日
さささちりあちりあちりあちりあちり長

てしやあまきんのみ月此代このすま
さし火たうき大いえのけ
あこのしやよのしほの清き
みよん遠のよのしや
りねのいしやのしや
まのしやのしやのしや
花のしやのしやのしや
日 長 碩 日 長 碩 日 長 碩

そ朝をいひくうすのし
わう換とてころもかのし
ここのしやのしやのしや
まのしやのしやのしや
あまのしやのしやのしや
とこのしやのしやのしや
日 長 碩 日 長 碩 日 長 碩

夜ふけの秋の夕暮のよもぢぢら
いしあらしし乃照らゆく風長
手のみまきお夜まはるていづ月
ふをたつとらふよしひらも
かたしよそくしとのみれ向な
こしせぬたしりしれくこまのしや
長

宗碩廿十

宗長廿十

何衣 第六

深くちを夕日くらげの影おま
りり乃を山よしく時雨すま
さかしく此入野の立と群更く
よれすし風ふまはるむ
らをとしておれはゆふしる照不
何なる里のおしうそあらし
日 碩 日 長 宗 碩 宗 長

旅のそとひらふらふりやそ
岩乃くけらあまつらあや
すしーくふ小茶やうけはま
古しれすこころまかこころめやほ
あまこころまあこころま
うのかまこころまあこころ
るこころまあこころま

長 日 長 日 長 日 長

月こころまあこころまあ
りこころまあこころまあ
風よのふふまあこころま
えふこころまあこころま
まふこころまあこころま
なまこころまあこころま
わこころまあこころま

碩 長 日 碩 日 長 碩

あつめはかりうらさふさむるもあて
りしうらさふさむるもあて
たよりさふさむるもあて
なうらさふさむるもあて
てうらさふさむるもあて
さふさむるもあて
さふさむるもあて
さふさむるもあて

長 碩 日 日 碩 日 長 碩 日

あつめはかりうらさふさむるもあて
りしうらさふさむるもあて
たよりさふさむるもあて
なうらさふさむるもあて
てうらさふさむるもあて
さふさむるもあて
さふさむるもあて
さふさむるもあて

長 碩 日 日 碩 日 長 碩 日

淡き花のよきあはれ世なる
身よきあはれ世なるあはれ
きぬきやほろのりたあは
又いふこゝのよきあはれ
きぬきことほろのりたあは
うきあはれとたあはれの人
まらうきあはれとたあはれ
長日 碩日 碩日 長日 碩日

あはれとたあはれとたあはれ
女部花のよきあはれ
あはれとたあはれとたあはれ
きぬきとたあはれとたあはれ
かきとたあはれとたあはれ
是のよきあはれとたあはれ
すきとたあはれとたあはれ
碩日 碩日 長日 碩日 碩日

まゝー夜のそとよもあまのさふ
葉もちりけーむるをやふくらむ
おまそり里乃夕舟のしりー
月よつこーあるののろー
ほろんこー社やたふおしおれ上
きつあふやーのさなれ富士のぬ
たろくにーあふくさの風はほせ
長 日 碩 長 碩 日 長 碩

ろろまろーささのろめろーな
ほーらすあー戦者のあーれを
ろ地ろーおろもおろまいーし
ろろやあやーいふろすろろろ
ろをぶろろーあけもろろれぬ
ろをなろ本かくれてのろもれぬ
ろろかーろあふやほろろ
長 碩 日 長 碩 日 長 碩

かアツクはすしものきつはさくちやと
朝之木がくしりかへけよくり
まひしよす里のえんれやま
いふくしきやこのきよ
一りし春のくれと結く
友へたしきも雨のつれ
けくやよかられあし
碩 日 碩 長 日 日 碩

くむくしきやあしぬ世の介
おさめくは園さあけおか
氏方弟の葉し風はき
碩 長 碩

宗長五十一 宗碩五十一

山竹草九

みろくれおよふは乃とねれ雪
招りしおれし月かか
宗長 宗碩

ゆきよの荒やぬきよ
しらけしきり
旅あきくあき
きりの屋り
むしのきりにきき
たきりきり
かさくきり
長
同
碩
同
碩
長
同
碩

しきりや波のきり
一むしのきり
おきり
ちり
はきり
花乃きり
きり
日
碩
同
碩
長
碩
同
碩

冬にわたる雪のふりもまじくして
ふき冬にふりもいかにあつらん
あけふあけの雪波の梅乃程か
あつらふも乃すもさやみ人
て川君うらつらん月ま地く
秋さちうめふさやめさつらん
すむいふもいかにやちや村原
日 長 日 石 長 破 長

雪のふりも雪のふりもまじくして
ふき冬にふりもいかにあつらん
あけふあけの雪波の梅乃程か
あつらふも乃すもさやみ人
て川君うらつらん月ま地く
秋さちうめふさやめさつらん
すむいふもいかにやちや村原
日 長 日 石 長 破 長

浦人を出てやうぬぬ明るう日
大和の海ねるをあたふひく長
あはれをくらまきに赤もく世の奴え
花よりうりする様よくあり長
遠ささらその家力若く成る日
名くは風を吹そめこれふ碩
ふゆなりまじく何のりある長

君うみしせいかめてたのき
せれ出るくら力ねき夜違と長
たうしあふ月めさやき日
秋うそくたうこしいやねん碩
あふたうそくはまかきや日
あふあふふくまは志を伝かて長
板井の志水いんのかいし碩

夕られやすし〜人かつ〜も
さすき〜すぬらう山〜れ〜と
け〜ゆるき〜た及の〜まみ〜え
屋〜り〜れ〜も〜い〜せ〜や〜〜や
まよ〜し〜い〜満〜も〜い〜れ〜る〜あ〜り〜し
あ〜〜せ〜こ〜ら〜の〜い〜〜と〜き〜〜れ〜し
風か〜し〜破乃〜う〜か〜は〜娘〜由〜書
長 日 破 長 破 長

春乃〜り〜きた〜う〜す〜い〜き〜み〜し
か〜い〜〜の〜ゆ〜い〜の〜の〜お〜き〜〜て
非〜〜い〜〜と〜お〜め〜の〜〜る
管〜も〜〜と〜れ〜〜の〜あ〜〜れ〜あり
な〜み〜〜の〜い〜〜と〜て〜の〜知〜〜や
法〜〜の〜い〜〜と〜あ〜〜の〜い〜〜と〜だ〜〜え
文〜〜の〜い〜〜と〜あ〜〜の〜い〜〜と〜ん
長 破 日 長 破 長

夏むしめゆら風を
あはれさうきく秋の
枝のたれぬかきく
いしつかさうさ
先人のなまの
世のうさつと
二匹のうさつと

碩 長 不 日 長 不 長 日 長 不 長

胡タムキー
たしき
あひさね
山河や
さうき
くれ
その

日 碩 日 長 日 碩 日 長 日 碩 日 長

旅川〜〜志ありし旅ふ〜〜てきえ
とやこ乃月ふん〜〜とあき
秋〜〜つや〜〜め〜〜に世す人
志〜〜ふま〜〜い〜〜い〜〜い〜〜い
こ〜〜ふ〜〜る〜〜し〜〜れ〜〜ぬ〜〜い〜〜の〜〜こ
妻のそれ〜〜せ〜〜い〜〜い〜〜や〜〜ま〜〜れ〜〜ぬ〜〜ま
之子とせま〜〜い〜〜い〜〜い〜〜い〜〜い〜〜い
日 長 碩 日 長 日 碩

ほ〜〜ん〜〜る〜〜や〜〜た〜〜か〜〜し〜〜誌〜〜記〜〜と
〜〜ふ〜〜れ〜〜乃〜〜る〜〜出〜〜幸〜〜此〜〜時〜〜所〜〜ん
志乃あり〜〜し〜〜れ〜〜と〜〜世〜〜に〜〜く〜〜れ〜〜か〜〜し
お身〜〜い〜〜す〜〜の〜〜ま〜〜ま〜〜ま〜〜ま〜〜ま〜〜ま
や〜〜し〜〜み〜〜ぬ〜〜ま〜〜ま〜〜ま〜〜ま〜〜ま〜〜ま
〜〜い〜〜ろ〜〜の〜〜ほ〜〜の〜〜お〜〜や〜〜い〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ
す〜〜ら〜〜い〜〜り〜〜い〜〜ま〜〜や〜〜あ〜〜い〜〜ん
日 日 長 旅 長 碩 日

子ロすおね松のみぬの葉さき
みしりあしきふしりまはる
雲のしる風よふしりまはる
ぬるおかききききききき
物とておしき人あはるきき
命けし斗のぬしけやあき
玉ほしみの及を別よりやして

破 日 長 破 日 長 破 日 長

いしゆゆきしあしゆゆゆ
年ふすしむ岩のさたききき
たうせきしりりりりりりり
やうらしき水のしききき
なうれぬしききき花のぬし
みよりりりりりりりりりり
あはるきききき月おしりり

破 日 長 破 日 長 破 日 長

宗碩廿十 宗長廿十

何木芽十

すわらふよお月らうこふああふ
霜乃まの袖まうつらなほあ子
てはくゆりさこれんこくさ
峯とくひるあうこくさ
ゆくりやとまよ山を北詠あん
長 碩 宗長 陸雪

歩むをのすまき乃うこくさ
きられもいふか花力さうふああ
口いこくさ里けうあうけ
すまふこくさあああああ
そはもこくさあああああ
あああああああああああ
月したあああああああ
碩 長 日 碩 長 日 碩

後の...
さの...
西...
あ...
西...
か...
西...
日 長 碩 兵 日 石 長

よ...
弊...
ま...
あ...
か...
志...
り...
日 碩 日 長 日 碩 日

於事務のころもしてつる麻の夢
煙の雨も交りつるやせすく
うら〜くつら田の里おて〜
あや〜す〜はもね〜
ワ〜い〜つ〜し〜あ〜ま〜さ〜あ〜ま〜あ〜ま〜
た〜き〜て〜ま〜ゆ〜〜あ〜ま〜あ〜ま〜
扇〜え〜も〜て〜あ〜〜を〜触〜の〜音〜
長 不 日 長 破 日 長

た〜ら〜の〜ま〜の〜あ〜ま〜あ〜ま〜
木〜〜〜〜よ〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜
山〜里〜の〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜
そ〜ふ〜く〜も〜あ〜〜あ〜ま〜あ〜ま〜
う〜れ〜〜〜よ〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜
露〜を〜〜〜し〜た〜も〜い〜ま〜あ〜
草〜の〜〜〜あ〜ま〜あ〜ま〜あ〜ま〜
長 破 日 長 破 日 長

ちりハ花いろのしみのたぎき
うむらひをまきはるしん
西あききく海のしらけゆるみや
おろてんこなすくお川子
それのこやこいこをたぎき
むらしのこきよあきこ野ら
まろ此雨のそよれをたぎき
長 日 日 碩 日 長 碩

野山をくくく梅のあつりき日
月とくすく嵐や 影よ契らむ
乃こるくあかこいあいの秋長
爰かこいこいよのそよし日
うまこりめたろやせよこい
そ地しやろこの海とをたぎき
そまのこいれをたぎきあき日

みらきうのきう丹まかきよりの夢
絡まうりなるかえりやハキキキ
里人し即ちの答ひすよん
まじり門を水入りすま
松こそは安あゆみの文縁に
うすしきね秋をせきかく
流るるくちし一はのきりた
碩 日 長 碩 日 長 碩

かきうがふる月もかき一は
うすしきね秋をせきかく
新も松まふあしはん
このはしきねあゆみの文縁に
うすしきね秋をせきかく
遠路乃つしきねあゆみの文縁に
松まひらりのかきあしはん
碩 長 碩 長 碩 長 日

身もあはれも外のあはれも 新して 長
なごころのあはれもあはれもあはれも 破
神もあはれもあはれもあはれもあはれも 日
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 長
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 日
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 日
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 破

あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 長
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 破
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 日
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 日
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 破
あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも 長

山ふもさるもとあれて年七ぬ日
むにせしあつたきしめいつし
あし鴨のたけしなれぬも花
しちけさすもくらしん
我らそさあしとゆし海おらて
むのふせふさくしあつたくも
ゆまいていふあつたきさるの白風ふ
破 破 日 長 板 日

ふのあつたあつたいたく
あつたあつたあつたあつた
甲つたあつたあつたあつた
かつたあつたあつたあつた
うつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつた
きつたあつたあつたあつた
破 日 長 日 破 長 日

うつたふのあふかきにはまを長
おのこむききしはのき 碩
かしむしれ松るるるち敷みて 日
乃よりおがえは文代のちるき 長

睡雲一白宗碩卒 宗長卒九

何船遊加

くふささきそはれきあしちや神ちん 伊長

お類かーこうき 峯一乃さるま 是久
あえのある月、光れまされそ 秀保
そらふられり 遠のちるき 甚長
あふの夜ふききなぬぬし 岑信
ちり路りる風いりりちり
屋しりりる屋のいりる松は 尤亦
こふささきー 志まき 松は 光定

後たふあれ今うはなすんを丹路の
いふたーいふたなつらつら
らにこそこのらやにいふら松のを
いふにいふたかこつらに松のを
そらにいふたかこつらに松のを
おとあつたやいふたかこつらに
まゝにいふたかこつらに松のを

祇 長 拍 祇 長 拍 祇 長 拍 祇

ふにいふたかこつらに松のを
あつたやいふたかこつらに松のを
いふたかこつらに松のを
いふたかこつらに松のを
いふたかこつらに松のを
いふたかこつらに松のを
いふたかこつらに松のを
いふたかこつらに松のを

拍 祇 長 拍 祇 長 拍 祇 長 拍

とつれしや西よ公の葉乃唐
ふみのあつめふに何おもひん
えんあつめしりしすまひは
冬のもやふ水くちり
夕いん秘のゆいさ
いふれしの月たさや
誰しあく鐘をきくは
長 柏 祇 長 柏 祇 長 柏 祇

あつめしりしすまひは
冬のもやふ水くちり
夕いん秘のゆいさ
いふれしの月たさや
誰しあく鐘をきくは
長 柏 祇 長 柏 祇 長 柏 祇

だのちあははぢりしとまはる
 けしあふふゆりけしあ
 りりけしや名もれはまのま
 たりまよこりあまてま
 おもひろくまはるまはる
 けしあふふあまのまはる
 けしあふふあまのまはる
 けしあふふあまのまはる

柏 長 祇 拍 長 祇 拍 長 祇 柏

いてはうあまをけしあ
 けしあふふあまのまはる
 けしあふふあまのまはる
 けしあふふあまのまはる

柏 祇 長

背 月 柏 世 宗 長 世 宗 祇 世 宗



